

テーマ1「乳房再建術 CAL 組織増大術 費用は高額か？」

プレゼンター：MN2 亀井ゆかり

ディスカッション

○脂肪吸引：2000ml 吸引 幹細胞を分離

その後の大きさ、形 予測したうえでバランス良く注入

○当初アメリカでされていたのに日本で普及しなかった理由
成功率？

温存術がされるようになったのも最近。それと併せて進んできたか。

○両側を同時に再建しているケースは？

探せなかった。

○CAL ができる医療機関は6か所

セルポートクリニック、慈恵医大、等

○いつごろから？

2006年導入。まだあまり普及していない。

一回の診察では済まない。

○学会内での情報でもメジャーでない。

○乳腺外科は切除術、CAL は形成外科の手術

○同時再建術はシリコン

○再建をするかしないか。再建の方法として何を選ぶか。という選択肢がある。

○サポートネットワークでも CAL の情報はなかった。

○国税庁が高額医療費と認めたのも21年1月。美容整形という認識が強く、そこまでしても、という意識から件数が増えなかったのか。

情報もまだ少ないため、デメリットがまだある可能性もある。ネットでも。

○美容整形か医療か。医療との境目。

リマンマ：乳がん術後の専用下着 店頭販売していない。

○女学生はがん検診も費用面や住民票が実家にあつたりで自治体の検診も受けにくい。

RE-DEFINING NURSING Yuito Okada

そとにアピールしていない

どういう人が高給を得るか 高リスクの仕事以外、横並び

実態をさらすことで、いいものが出るのか、さらされてしまうものもあるのでは。

ネットで情報共有 表に出していいことを共有 いいものを発見して情報共有していく

看護職 結果でなくプロセスを重視 一生懸命していること

人の役に立っていれば満足な人？職業としてどうなのか。目標の違い。

より良いものを求めて成長する人。

ただし互いが責めてはいけない。各々の目標を尊重。

すぐれた何ができるのか。表現する。

各々の得意な専門分野をもつナース。自分がやっているケアを説明できる。

アウトカムとしてなにが測定できるのか、その技術。

看護の定義をしなおす。

身体面、精神面、社会的側面をトータルに評価できる。

看護のエリアが広すぎで理解されづらい。

保健：全部を見る

公衆衛生を専門に担っているところが少ない

対象を理解する（だけでも保健）＋サポートする＝ 看護

医学との違い 病気が起こっていることにターゲット

看護：病気や健康問題に問題を持っている人にどう対処するか

その人がそう思ったときにどうするか

看護診断 教育学、社会学、心理学の理論的整理ができています

測定できないものはない **Healing , Alternative Medicine**

言語化できるものは測れる

新しい知識を得ようとするときは、専門的な知識をもったひとが必要。しかも異なる分野のひとの意見。

仲間から書き込みしてもらった時、専門的にはわかっているけどできない理由、うまくいかない理由などを共有することには書き込みが役立つ